

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1340
施設名	国分寺エンジェル保育園
施設所在地	国分寺市東恋窪4-29-10
法人名	社会福祉法人 勇志会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・火・水から学ぶ防災

<テーマの設定理由>

<p>国分寺には葉っぱや木の枝が拾える散歩場所があり、園で木育をやっていることを踏まえて「自然にある葉っぱや木で何ができるのか」、「どんなことができるか」を考える探究活動にしようと考えました。「水」についても、水の大切さを園児自身で考え、「どんな水があるか」や「水の味の違い」などを探究活動にしました。</p> <p>「水」や「光」と違い「火」は中々園児が関わる機会がないため、安全を確保した上で「火」を使いました。自然の物から発火させた火で「火って何ができるものか」、「火はどんなものか」を考えられる取り組みにしました。</p> <p>また、地震の増加や強風や豪雨による自然災害が増えているため、「自然」、「火」、「水」の探究活動の中で有事の際に「どうすればいいか」や「こんなこともできる」といった発見のできる取り組みにしました。</p>
--

2. 活動スケジュール

12月2回 散歩をして木の葉や枝を拾い集める。葉や枝の香りを感じる。
1月1回 持ってきた葉っぱや泥で汚い水を作ってみる。それを実際にろ過してみる。水が綺麗になる過程を楽しみながら、非常時に飲める水のできる仕組みを考える。
2月2回 ビザ窯を用いて木の葉や枝を燃やしてみる。香りや燃え方を観察する。その炎を用いて、芋を焼いて食べてみる。
3月1回 園内にあった木や紙を燃やして、香りの違いや燃え方の違いを感じる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<p>木の葉収集では近隣の落ち葉や枝のたくさん落ちている所へ散歩へ行く。</p> <p>水をろ過する探究活動では全園児が見れるように園庭で実施。ろ過装置の原理が分かるペットボトルの簡易のろ過装置を作成して原理をみせる。安全確保のためパーテーションを設置して園児と装置を隔てた。</p> <p>ビザ窯も火を扱うので園庭で実施。拾ってきた枝が燃えるように事前に燃えやすい薪を準備。</p> <p>ビザ窯への燃やす物の投入は職員が行う。園児はパーテーション隔てた奥でゴザに座って観察。</p> <p>薪など燃えるものを取り扱うため放火等の対策として管理は鍵のかかる防災倉庫で行う。</p>

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

全園児が散歩先で色々な木の葉や枝を拾って、手触りや香りを楽しみました。
全園児が園庭へ出て、泥水をろ過する工程を見たり、実際に体験したりしました。体験前に先生がペットボトルで作った簡易のろ過装置で、どうやって水が綺麗になるかを説明しました。
1回目は3歳児～5歳児を対象にピザ窯に入れる薪の説明をして、目の前で薪を割りました。その薪と子どもたちが拾ってきた枝や木の葉を入れて燃やしました。2回目は5歳児のみを対象にピザ窯で自分たちが食べるジャガイモを蒸しました。3回目は4～5歳児対象に園内で拾った木の枝や木の葉、園内にあった紙を燃やして、燃やす物で香りや燃え方が変わることを体験しました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

濁った水が透明になる様子を見て「何で透明になるのかな？」や「飲めるのかな？」など疑問が生まれて、園児各々が発見をしていました。職員は「困った時に飲めるお水になるんだよ」や「少し濁っていても綺麗な水なんだよ。」とろ過した後の水について話していました。
ピザ窯で木の葉などを燃やした際には燃え方ではなく、燃やした煙の陰で遊びながら「〇〇ポケモン」などごっこ遊びをする子どももいました。また、「燃やした物で香りの違いはある？」と聞くと、「紙を燃やすと臭い」と5歳児と4歳児から話がありました。子どもたちは各々思う「納豆みたい」や「車のガスみたい」など独特な表現をしました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動を通して、防災の意識を高めることができました。水や火など身近にある物を用いて実践することで、子どもたちから「汚いお水が飲めるようになるんだ」や「葉っぱを燃やすとすごく暖まる」など実際に体験することで、子どもたち自ら「身近なものが困った時に役に立つ」ことを発見していきました。
防災に関わるだけでなく、燃やすもので香りが変わる、燃え方が変わる、煙の色が変わることに気づいていきました。日頃何かを燃やすことがないので、少し変な香りでも笑いながら友だちや保育者と関わっていました。
子どもたちが直接体感する日常にない体験だからこそ、何を燃やせばどうなるかなど新しい探求へ繋がったと感じます。今回の水や火を用いた活動を今後も続け、子どもたちが楽しめる探究活動へ繋がるようにしていきたいと思っています。